

市議会議員選挙
没後50年 坂本繁二郎展
30年度市民意識調査結果
医療費助成を充実
市の組織を一部変更

敢然と激坂

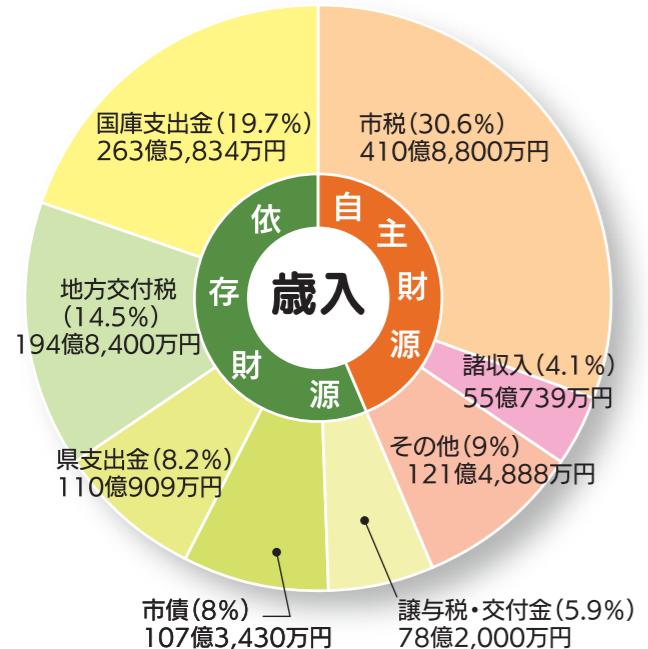


だてじゃない。最大傾斜 22%

耳納連山の急な上り坂が舞台の自転車レース「久留米つばきカップ」が、3月17日に開催されました。参加した80人が、歩いてもきついほど の坂に、ペダルをきしませながら挑みました。

特集

平成31年度予算決まる
2ページ



歳入の主な内訳

- ◎自主財源=市が自主的に調達することができる収入
【市税】市民税、固定資産税、軽自動車税など
- 【諸収入】貸付金の元利収入や収益事業からの収入など
- 【その他】使用料・手数料、分担金・負担金、繰入金など
- ◎依存財源=国や県から交付または割り当てられる収入
【国庫・県支出金】建設事業や生活保護などへの国・県からの収入
- 【地方交付税】所得税などの国税の一部が交付される収入
- 【市債】一度に大きな費用が必要となる事業を実施するための長期的な借入金
- 【譲与税・交付金】自動車重量譲与税・地方消費税交付金など

歳出の主な内訳

- ◎義務的経費=支出が義務付けられ、任意に節減することが困難な経費
【扶助費】医療費の援助や生活保護費、障害のある人への手当など
- 【人件費】職員の給与など
- 【公債費】市債の返済（元金・利子）
- ◎その他の経費
【物件費】備品の購入や印刷費、光熱水費など
- 【普通建設事業費】道路や学校などの建設費
- 【補助費等】関連団体や各種団体への負担金や補助金など
- 【繰出金】特別会計や公営企業会計に支出する経費
- 【貸付金】中小企業への貸し付けなど
- 【その他】維持補修費、積立金、投資・出資金など



まちづくり	事業内容	予算額 (万円)
安心・快適・都市力	①快適な都市生活を支えるまちづくり	3600万円
経済成長・雇用	②都市開発・地域開発のまちづくり	511万円
安心・快適・都市力	③人権の尊重・男女共同参画のまちづくり	1億1088万円
経済成長・雇用	④人権の尊重関連事業	1億873万円

まちづくり	事業内容	予算額 (万円)
地域企業育成事業	①地域経済を支えるまちづくり	1536万円
経済成長・雇用	②新産業団地整備事業	5881万円
地域企業育成事業	③防災対策強化事業	7920万円
安心・快適・都市力	④市街地浸水対策事業	3685万円

まちづくり	事業内容	予算額 (万円)
安心・快適・都市力	①地域の緑化事業	3600万円
経済成長・雇用	②中心市街地拠点緑化事業	511万円
安心・快適・都市力	③人権の尊重・男女共同参画のまちづくり	1億1088万円
経済成長・雇用	④人権の尊重関連事業	1億873万円
安心・快適・都市力	⑤教育ICT活用事業	1億2万円
経済成長・雇用	⑥小・中学校くるめ学力アップ推進事業	1億59万円
安心・快適・都市力	⑦暮らし・教育	1億2067万円
経済成長・雇用	⑧待機児童解消事業	3億9351万円
安心・快適・都市力	⑨乳幼児等健診事業	4億2067万円
経済成長・雇用	⑩就職支援事業	5000万円

一般会計は三つの柱

一般会計は、1341億5000万円で、前年度から2・6%増えました。歳出は、補助費等が前年度比17・5%増。扶助費は、給付が増える見込みで、4%の増加です。

歳入は、個人市民税や法人市民税が増えたことで、市税が前年度比2・7%増進したことから、3・7%増と見込んでいます。

市債は新産業団地の整備が進んだことから、3・7%減と見込んでいます。一般会計で行う主な事業を、三つの柱に沿って紹介します。



体育の授業でタブレットを活用



関連イベント

美術講座

「坂本繁二郎の絵画世界」

■日時 5月25日(土)14時～15時30分 ■会場 本館1階多目的ルーム
 ■定員 70人・当日先着順 ■料金 無料
 ■講師 市美術館副館長・森山秀子氏

ワークショップ

「はんじろうさんブローチを作ろう」

■日時 5月18日(土)10時～15時
 ■会場 本館1階多目的ルーム・展示室
 ■料金 材料代1個100円

坂本繁二郎旧アトリエ特別公開

■日時 5月3日祝から6日休まで、11日(土)、12日(日)、6月8日(土)、9日(日)11時～15時
 5月11日(土)、12日(日)は、アーティストのオーギカナエさんによるインスタレーション「はんじろうさんの雲」を公開。

石橋正二郎生誕130年記念
 「特別講演会＆コンサート」

■日時 4月26日(金)13時30分～
 ■会場 石橋文化ホール ■定員 1,000人・当日先着順 ■料金 無料。3月30日(土)10時30分から、石橋文化センター、情報サテライト、木下楽器店で配布する整理券が必要

青木繁《朝日（絶筆）》1910年
 佐賀県立小城高等学校黄城会蔵坂本繁二郎《自像》1923-30年
 石橋財団プリヂストン美術館蔵坂本繁二郎《八女の月》1969年
 京都国立近代美術館蔵

没後50年目の回顧展

【会期】4月6日(土)から6月9日(日)まで。4月26日(金)と5月5日(祝)は入館無料。
 月曜は休館

月9日(日)まで。4月26日(金)と5月5日(祝)は入館無料。
 月曜は休館

【料金】1000円、65歳以上700円、大学生500円、高校生以下は無料。
 前売り券は600円。チケットぴあ、ローソンチケットなどで販売

土・日曜の14時から、美術館スタッフによるギャラリートークを開催します。
 5月25日(土)を除く。

開催時間：午前10時～午後5時

問 久留米市美術館(094-239-3134)



坂本繁二郎《放牧三馬》1932年 石橋財団プリヂストン美術館蔵

人生の歩みを振り返る

 久留米市美術館
 KURUME CITY ART MUSEUM
 ISHIBASHI CULTURAL CENTER

坂本の描くテーマは、年を重ねることに変化し、留学までは牛、帰国後は馬、戦後は身の回りの静物、最後は静物画に特に注目。坂本の芸術が成熟していく過程を人生の歩みとともに紹介します。また、親友でありライバルでもある青木繁の作品も展示します。

SAKAMOTO HANJIRO
 2019年 4月6日(土)～6月9日(日)
 会場／久留米市美術館
 特別助成／公益財団法人石橋財団

静物画に注目

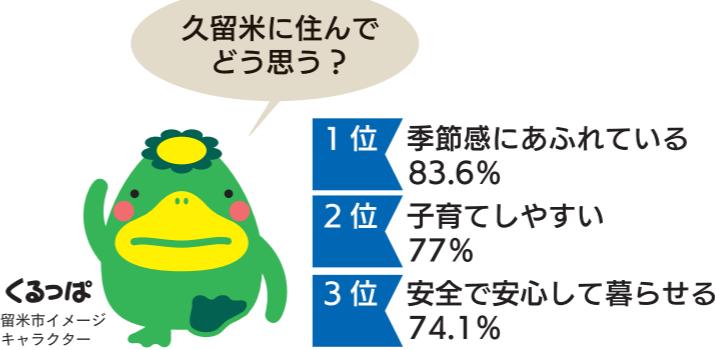
坂本繁二郎は、明治15(1882)年、久留米市京町生まれ。高等小学校時代は、森三美的画塾で青木繁と一緒に洋画を学びました。20歳で上京。画壇で認められた後、39歳でヨーロッパに留学します。帰国後は八女市を制作の地に選んで、アトリエを構え、昭和44(1969)年に生涯を終えました。

住みやすい理由は「買い物や日常生活に便利」

久留米市は、市民の皆さんの市政に関する意向や意識を把握するために、毎年、市民意識調査を行っています。

テーマと調査方法

今年度は、住みやすさなどを尋ねる「行政施策」の



他、「インターネット」、「観光」、「環境」、「文化・芸術」、「教育」の6つのテーマについて調べました。調査は、市内に住む18歳以上の2000人を無作為に選び、6月から7月にかけて実施。1758人が回答し、回収率は87.9%でした。

住みやすいが8割

久留米を「住みやすい」と感じる人は全体の82%。6年連続して8割を超えて実している、「緑や自然が多い」と続きました。また、「医療や福祉が充実している」と回答。65歳以上の人や障害者手帳を持っている人が77.4%人が「市に愛着がある」と答えました。

季節を感じるまち

久留米についてどう感じます。理由は「買い物や飲食など日常生活に便利」が1位。「医療や福祉が充実している」、「緑や自然が多い」と回答しました。また、「市に愛着がある」と答えました。

まちづくりの基礎に

その他、インターネットの利用状況や1年間で行った文化芸術鑑賞、子どもを取り巻く問題点などについても調査しました。詳しい

SNS利用者は写真映えスポット推し 知人に薦めたい観光資源を尋ねたところ、1位は「高良大社」でした。フェイスブックやインスタグラムなどのSNSを利用している人は、「浅井の一本桜」や「酒蔵」、「耳納連山の麓に点在するカフェ」など、SNS映えを意識した写真が撮れる場所を、より薦める傾向がみられました。



結果と分析は、報告書にまとめ、まちづくりの基礎データとして活用していくます。報告書は、本庁舎行政資料コーナーや各総合支所地域振興課、各市民センターに各コミュニティセンターに設置。市ホームページでも見ることができます。

④広聴・相談課（0942・30・9711）

⑤広報戦略課（0942・30・9702）

報告書と概要版は4月12日㈮ごろ、各施設に設置します

市ホームページ「市民意識調査」へのQRコード



医療費助成の充実で暮らしに安心を

❖若年末期がんの在宅療養と男性不妊治療をサポート

久留米市は、市民の皆さんが健康に安心して暮らせる環境を目指し、思いやりと育みのあるまちづくりを進めています。平成31年度に新規・拡充する医療費助成制度を紹介します。

39歳以下の末期がん患者が自宅で療養する時の、介護費用の一部を助成する「若年者の在宅ターミナルケア支援事業」を始めました。

この年代は、介護保険の給付が受けられず、「制度

のはざま」に。住み慣れた所で最期の時を過ごしたいのに、経済面で負担を感じる人も居ました。

この制度は、訪問介護を受けたり、介護ベッドや車いすを借りたりする費用に對して、月額6万円を上限に補助。本人が負担する割合は1割で、その分をサービス事業者に払います。

④健康推進課（0942・30・9742）

35万円に助成を拡充 男性の不妊治療

不妊治療を希望する夫婦の経済的な負担を軽減するため、治療費の一部を助成しています。しかし、男性不妊治療の費用は平均約35万円なのに対し、これまで20万円が上限でした。

2・30・9729、FAX 0944-30-9833

紙面そのままスマホに

❖アプリ「マチイロ」で広報くるめを配信

最新号発行の通知やスクランプ機能も

「広報くるめを、もっと身近に」。久留米市は、いつもどこでも簡単に見てもらえるよう、スマホアプリ「マチイロ」での配信を始めました。

マチイロは、選んだ広報紙の紙面がそのまま表示されます。発行の通知機能やスクランプ機能なども備え、さらに、選んだ自治体がホームページなどに載せたお知らせ情報なども入手できます。

操作は簡単。スマホのカメラで、下のQRコードを読み込み、アプリをダウンロードします。希望の自治体や媒体を選び、ダウンロード。一度保存すると、通信せずに読みます。

④広報戦略課（0942・30・9119、FAX 0944-30-9702）



アプリのダウンロードページへのQRコード



男性不妊治療
■対象 治療指定医療機関かそこから紹介された医療機関で行う体外受精か顕微授精の過程で精子を採取する手術
■助成額 初回・上限35万円、2回目以降・上限15万円、2回目以降で年度初回・20万円 ■利用方法 治療を受けた後、申請書や領収書、住民票など必要書類をそろえて、こども子育てサポートセンターへ。必要書類など詳細は市ホームページに掲載

くるめ学生通信

40

景観はどうやってつくられるの?

市内の学生が、久留米市の仕事などを取材し、学生目線で発信するシリーズです。今回の記者は久留米工業高等専門学校（4年）の井手佑介さんです。

○広報戦略課 (☎ 0942・30・9119、FAX 0942・30・9702)



薄い茶色で舗装された坂本繁二郎生家前の道路

久留米市には、新しく家や広告物を作る時に、景観を守るためのルールがあると聞きました。そこで、景観づくりに力を入れている京町地区を案内してもらい、話を聞きました。

—そもそも景観とはなんですか?
景観の景は、山や川など目に見える物の姿。観は、人がそれを見て感じるまちの表情や印象のことです。
—私は、久留米城跡が好きですね。歴史を感じる石垣と四季の花の調和がすてきだなと。

そんな風に、見た人の心に残る景観づくりを目指して久留米市景観計画を作りました。ただ整った景色ではなく、住む人にぎわいや営みを感じられる景観は、訪れた人や住む人自身にも、良い印象を与えます。

—景観計画は景観づくりにどう役立つのですか?

計画では、市全体を6地域に分けています。それぞれ建物の色や高さなどのルールを定め、統一感がありつつも、地域性のある景観づくりを進めています。中でも特徴のある地域として、京町を市で最初の景観重点地区に指定し、その魅力を高める取り組みにつなげています。

—なぜ京町が景観重点地区になつたのですか?



JR久留米駅西口から京町地区にかけて続く散策路

京町住民の皆さんと一緒に「歴史・文化薫る、住みたいまち、訪れたいまち」をを目指しています。閑静な暮らしを守りたいと感じました。また、京町の歴史と文化が水天宮や城下町の町割りなどを生かしたまちづくりをして楽しめる景観にしていきます。

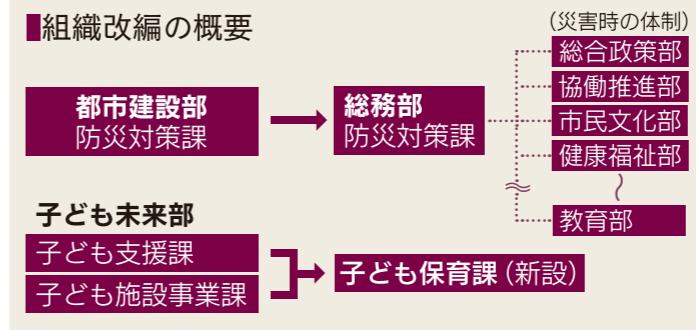
—景観を整えるとどんな効果がありますか?

—何気なく通っている道や見ている風景をまちづくりに生かすため、さまざまな立場の人方が考え、行動していることを知り驚きました。

景観づくりは長い時間をかけて行うことで、徐々に成果が出てくるそう。どんどん変わっていく久留米の景観を楽しみたいです。



景観計画の成り立ちや役割について話を聞きました



久留米市は、防災や子育て支援の強化に向け、4月1日から組織の一部を変えます。多発する自然災害への対応力を強化するため、防災対策課を都市建設部から総

組織全体で災害対応を担当する自然災害への対策課を都市建設部から総務部に移します。

防災や災害対応は、全庁にまたがる課題です。防災担当を市の組織全体をまとめる総務部に置き、庁内の連携を強化。複数の部局に防災対策課を兼務する職員を配置し、災害時は組織全体で対応に当たります。

保育所の入所手続きなどを担当する子ども支援課と、保育施設の許認可や保育所の整備などを担当する子ども施設事業課を統合し、「子ども保育課」に。10月に始める幼児教育と保育の無償化や待機児童の解消に取り組みます。子ども支援課が担当していた児童手当や児童扶養手当、特別児童扶養手当の手続きの窓口は、家庭子ども相談課に変わります。子ども支援課が担当していった児童手当や児童扶養手当の手続きの窓口は、家庭子ども相談課に変わります。

保育部門を一元化

保育所の入所手続きなどを担当する子ども支援課と、保育施設の許認可や保育所の整備などを担当する子ども施設事業課を統合し、「子ども保育課」に。10月に始める幼児教育と保育の無償化や待機児童の解消に取り組みます。子ども支援課が担当していた児童手当や児童扶養手当の手続きの窓口は、家庭子ども相談課に変わります。子ども支援課が担当していた児童手当や児童扶養手当の手続きの窓口は、家庭子ども相談課に変わります。

久留米つづじマーチ

前日までの申し込みで割り引きに

4月20日(土)、21日(日)

生の国際色豊かな屋台などがあります。無料の足湯コーナーもあり、疲れた足をゆっくり癒やすことができます。

料金 1,500円、当日は2,000円。小学生～高校生700円、当日は1,000円。1日のみ、2日間参加を問わず同額。申込締切 4月19日㈮。申込書は本庁舎1階行政資料コーナー、各総合支所産業振興課、各市民センターなどに準備。当日は会場で受け付け

家族で楽しくキッズウォーク

小学生以下の子どもと一緒に歩くキッズウォークを今年も開催します。中央公園を出発し、久留米百年公園やくるめウス、鳥類センターなどを巡る、家族で楽しく歩ける約3kmのコースです。

日時 4月21日㈰ 9時15分～。受け付けは9時まで。対象未就学児と保護者。定員300人・当日先着順。料金無料。

○久留米つづじマーチ実行委員会事務局

(久留米観光コンベンション国際交流協会内、☎ 0942・31・1777、FAX 0942・31・3210)

キッズウォークはベビーカーでも参加できます(昨年の様子)

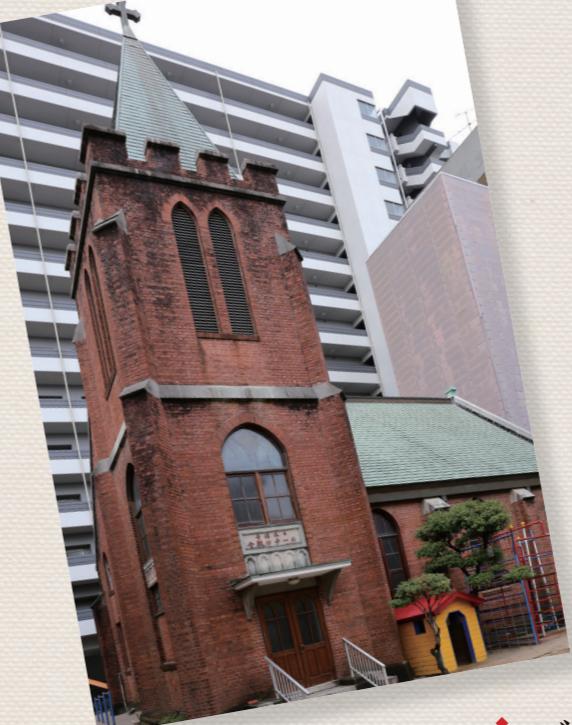
市の組織を一部変更

防災・子育て支援を強化

県内初の国登録有形文化財に ♦ 日本福音ルーテル久留米教会

3月18日、国の文化審議会が日吉町の日本福音ルーテル久留米教会の礼拝堂と煉瓦塔を、国の有形文化財へ登録するよう答申しました。教会の国有形文化財への登録は県内初です。

同教会は、アメリカ人技師ウイリアム・メレル・ボーリーズが設計。大正7(1918)年に完成しました。100年以上たつ今でも状態はとても良好。久留米大空襲も免れ、市街地で戦前からある数少ない建築物の一つです。



ボーリーズ建築の教会として全国で2番目に古く、九州では最古です



競技の後、拾ったごみを計量。ドキドキしながら見守りました

市政の動き

「クジャクのまち」から生中継 鳥類センターがカメラ設置



繁殖期の春から夏まで
求愛のために羽を広げる雄の姿が見られます

3月16日、百年公園周辺で「スポGOMI大会」が開かれ、42チーム166人が参加しました。制限時間内に決められたエリアで拾ったごみの種類や量を競う。久留米市から家族で参加した田邊佑來さん(小学4年)は、「ごみを探すのに動き回り疲れました。でも達成感があつて楽しかった」と笑顔で振り返りました。

鳥類センターは、インドクジャクの展示スペースの動画ライブ配信を始めました。28羽が餌を食べたり羽を広げたりする姿を、同センターホームページでいつでも見ることができます。同センターは、全国でも珍しい鳥類専門の動物園です。昭和29(1954)年にクジャクの繁殖を始め、旅立ち、かつて久留米は「ク

38(1963)年に100羽の繁殖に成功。今までに約3000羽が国内外に旅立ち、かつて久留米は「ク

ジャクのまち」として名をはせました。その歴史を知らない人に、も、同センターやクジャクに興味を持つてもらうきっかけになればと思い、ライブカメラを置きました。動画を見る時は、インターネットで、「鳥類センター ライブカメラ」と検索してください。

問公園緑化推進課 (0942・30・9085、FAX 0942・30・9707)

都市公園管理センターホームページ
「クジャクのライブカメラ」へのQRコード

消化の仕組みを体験 ♦ もぐもぐ探検隊

県青少年科学館で、消化について学ぶ特別展「もぐもぐ探検隊」を開催中です。子どもたちは、自分が食べ物になつたつりで食道の滑り台や、腸の迷路などを探検。出入口のお尻を目指します。

古賀悠馬さん(鳥栖市)は、「長い迷路が楽しかったです。段ボールで作られているのも面白い」と話していました。5月6日(休)まで開催されます。

飲み物を買って オリンピックを応援



シンボルツリーの撮影を
楽しむ来園者



大きな口を通つて探検へ出発。遊具はどれも強化段ボールで作られています

大輪の花が4万人を魅了

♦ 久留米つばきフェア

3月9日から17日まで、草野町一帯と石橋文化センターで「久留米つばきフェア」が開催され、約4万人が訪れました。久留米つばき園は、シンボルツリーの「正義」が大きな花を咲かせ、多くの人でにぎわいました。田川智子さん(三潴町)は、「去年より開花が早く、初日に来たかいがありました」と話しました。

市内の公園を管理する都市公園管理センターは、公園11カ所に飲料水の自動販売機を設置しました。熱中症対策や公園の利便性向上が目的です。

そのうち、中央公園、両替町公園、東町公園の3カ所にオリンピック支援自販機を設置。売り上げの一部を日本オリンピック委員会に寄付し、東京五輪を目指すアスリートの支援などに活用されます。

問公園緑化推進課 (0942・30・9085、FAX 0942・30・9707)

罐水バイパス解消へ 罐水バイパス開通



雨が降る中、記念式典でくす玉を割る参加者

新たに整備されたのは、高良内町の罐水地区を通る640mの区間。開通により、課題となっていた交通混雑の解消や歩行者の安全性、利便性の向上などが期待できます。式典の後、地元の住民など約150人が通り初めを行いました。道路交通ネットワーク推進課 (0942・30・9093、FAX 0942・30・9714)

山辺道文化館
☎ 839・0835 草野町草野 487の1
☎ 47・3015
✉ yamabe1@ktarn.or.jp

プリザーブドフラワー トールペイント展

■4月 14日(日)から 28日(日)までの
10時～17時。28日は 15時まで
■内容約 30点展示 ■料金無料

【体验教室】■4月 21日(日)10時

30分・トールペイント、②14時・
プリザーブドフラワー ■内容①木
製ティーマット、②母の日の贈り物
用 ■料金①2,000円 ②3,000円

■定員各 12人・先着順 ■申込開始
4月 9日(火)10時



北野生涯学習センター別館
☎ 830・1113 北野町中 3298の2
☎ 78・5939、FAX 78・5991
✉ k-bunka@city.kurume.fukuoka.jp

北野シニア大学

■5月 16日から 12月 19日までの
第1・3木曜 10時～12時。14回
■対象 60歳以上 ■内容 地域防
災、世代間交流、人権などの教養講
座、館外研修

**家庭教育学級
乳幼児保護者講座**
■5月 23日から来年2月 13日まで

有馬記念館 小川区有中世文書

中世・戦国時代に現在の田主丸町船越を拠点にした領主小河氏。小川区有中世文書は、15世紀から16世紀にかけて豊後・筑後国などを支配した大友氏から小河氏に発給された古文書を中心とした史料群です。平成29年に市の有形文化財に指定されて、初めての公開です。

■4月 20日(土)から 7月 29日(日)までの 10時～17時 ■有馬記念館 ■料
金 200円。高校生以下無料

【講座】■5月 18日(土)14時～15時 ■そよ風ホール ■内容 学芸員の講話「久
留米市有形文化財 小川区有中世文書」 ■料金無料 ■定員 35人・当日先着順
■文化財保護課 (☎ 30・9322、FAX 30・9714)

の月1回第2か第4木曜10時～12
時 ■対象 未就学児の保護者 ■内
容 育児、料理、健康などの講座。託児あり
◆◆◆◆◆

いずれも会場は同センター本館。
料金は無料、内容により実費負担あ
り。定員各 40人・抽選。申込締切
は 4月 24日(火)13時。申込方法は
電話、ファックス、電子申請。

城島げんきかん
☎ 830・0211 城島町橋津 739の1
☎ 62・2122、FAX 62・2148
✉ https://ssk-joujima.com.ssl-xserver.jp/contact/

ハニーズダンススクール 無料体験会

■5月 9日(木)、10日(金)。各 17 時
30分～18時30分 ■対象 4歳～
小学6年生の女児 ■内容 福岡ソフ
トバンクホークスオフィシャルダン
ス&パフォーマンスマネージャーなど
が指導 ■料
金無料 ■定員各 20人・先着順

母の日のカップケーキ教室

■5月 11日(土)10時～12時 ■対
象 年長～小学生 ■料金 700円 ■定
員 16人・先着順
◆◆◆◆◆

いずれも申込開始は 4月 9日(火)9
時。申込方法は電話、ファックス。

城島総合文化センター
☎ 830・0211 城島町橋津 1の1
☎ 62・2110、FAX 62・4466
✉ j-bunka@city.kurume.fukuoka.jp

舞の海秀平講演会

■6月 8日(土)14時～ ■内容 講演
「可能性への挑戦」(講師= NHK 大
相撲解説者・舞の海秀平氏) ■料
金無料 ■申込方法 電話、ファックス

金 1,500円。高校生以下 1,000円。
当時は 500円増し。チケットは 4
月 15日(月)9時から同センター、そ
よ風ホール、10時からセブン・ロー
ソンチケットなどで販売。託児の対
象は 6ヶ月以上の未就学児で、定員
は 10人・先着順、手話通訳、要約
筆記は申し込みが必要



みづま総合体育館
☎ 830・0112 三潴町玉満 2593の1
☎ 65・1115、FAX 65・1160
✉ miduma@shinko-sports.com

ナイターバドミントン交流大会

■4月 20日(土)17時20分～21
時 ■対象 中学生以上 ■内容 当日の
参加者で組み合わせを決めて、ダブ
ルスの総当たり戦 ■料金 1,300円
■定員 40人・先着順 ■申込期間 4
月 8日(月)9時～14日(土) ■申込方
法 電話、ファックス

ゆうゆう
☎ 830・0112 三潴町玉満 1790
☎ 65・1200、FAX 65・1219
✉ http://www.heartful-volunteer.net/contact/index

ベビーマッサージ

■4月 18日(木)10時30分～11
時30分 ■対象 乳幼児と保護者
■料金 100円 ■定員 40組・先着順
■申込開始 4月 9日(火)10時 ■申込
方法 電話、ファックス

福 祉

物忘れ予防検診

■4月 24日(木)①13時30分～
②15時～ ■えーるピア久留米
■対象 市内に住んでいる 65 歳以
上の
人 ■内容 認知症の早期発見のため
に、久留米大学高次脳疾患研究所

■北野総合支所 ☎ 78・3551、FAX 78・6482

■城島総合支所 ☎ 62・2111、FAX 62・3732

■三潴総合支所 ☎ 64・2311、FAX 65・0957

■田主丸総合支所 ☎ 0943・72・2111、FAX 0943・72・3819

養試験、作文、面接 ■申込締切 4
月 19 日(金) (必着)。申込書は申込
先・ホームページ、ハローワークに
準備。ハローワークの紹介状が必要
■同協会
(☎ 31・1717、FAX 31・3210)

保健

子育て無料相談

対象は就学前の乳幼児。身体計
測、栄養・子育て相談に保健師、助
産師、保育士、栄養士などが対応。
申し込み不要。母子健康手帳を持参
のこと。

■城島げんきかん ■4月 17日(火)
13時30分～15時
■城島総合支所市民福祉課
(☎ 62・2113、FAX 62・3732)
■コスモすまいる北野 ■4月 23
日(火)13時30分～15時
■北野総合支所保健師事務室
(☎ 23・1307、FAX 78・6482)

風疹抗体検査・予防接種

市内の受託医療機関 ■対象市に
住民登録している人で、次のいれ
かの要件に該当する人。
①妊娠を希
望する女性、②十分な免疫が無い妊
娠を希望する女性・妊婦の配偶者、
同居者、③昭和 37 年 4 月 2 日～
54 年 4 月 1 日生まれの男性。なお、
すでに抗体検査を受け、十分な免疫
があると判明している場合は対象外
■料金無料 ■申込方法 ①②医療機関
に連絡 ③問い合わせ先に連絡。運
転免許証など本人確認ができる物が
必要。医療機関は市ホームページに
掲載
■保健予防課
(☎ 30・9730、FAX 30・9833)

募集

久留米観光コンベンション 国際交流協会嘱託職員

■職種・人員 観光イベントの実施
など・1人 ■資格 高校卒業以上で
普通自動車運転免許を持つ人 ■雇
用期間 5月 1日から来年 3月 31日
まで。更新あり ■勤務時間 週 5 日、
35 時間 ■給与 月額 18万 4,700 円
■試験日 4月 25 日(木) ■選考方法 教
育



市役所の郵便番号(830・8520)は、市役所専用です
郵便番号を記入すれば、住所を書く必要はありません

不用品を受け付け

リサイクル宝の市では、ソファや食卓テーブルなどの家具、自転車などの不用品を受け付け、抽選などで販売を行っています。不用品は持ち込みか訪問で無料で引き取ります。
④リサイクル宝の市事務局
(宮ノ陣クリーンセンター環境交流プラザ内、FAX 27・5361)

県若者しごとサポートセンター 筑後プランチが移転

同センターは、4月15日(月)から本庁舎2階で業務を行います。
④同センター筑後プランチ
(FAX 33・4435、E-mail: info@ssc-f.net)

優良運転者表彰

【交通事故をなくす県民運動本部長表彰】資格30年以上無事故無違反の人
運転免許証両面の写しと、4月1日以降発行の無事故無違反証明書を持参して申込先へ
④安全安心推進課
(FAX 30・9094、FAX 30・9706)

【警察本部長・県交通安全協会連名表彰】資格市内の交通安全協会会員で罰金以上の刑に当たる犯罪行為が無く、過去10年以上無事故無違反で、警察署長・地区交通安全協会連名表彰を受けたことがある人
④申込締切6月14日(金) 申込方法運転免許証両面の写しと4月1日以降発行の無事故無違反証明書を各申込先へ。審査により表彰されない場合あり

上記を受賞している人は緑十字錠章、九州管区警察局長・九州交通安全協会連名表彰の表彰に申し込み

広報クイズ

坂本繁二郎
北九州市立美術館蔵
1941年
『海岸の牛』



6~7ページに関連の記事があります



久留米市出身の洋画家・坂本繁二郎が、森三美的画塾で一緒に絵を学んだ親友の名前は何でしょう。○に漢字を入れてください。

前回の答え→思春

ことができます。申込締切は4月26日(金)。詳しくは下記協会へ。
④北野町=小郡三井地区交通安全協会
(FAX 73・3939)
城島・三潴町=城島三潴交通安全協会
(FAX 62・2236)
田主丸町=浮羽地区交通安全協会
(FAX 0943・75・2545)
前記以外=市交通安全協会
(FAX 35・0140、FAX 34・3528)



精神科医の心の健康無料相談
6月27日までの木曜。各13時30分~15時。祝日を除く
■対象市内に住んでいる人 ■申込方法申込先に連絡
■保健予防課
(FAX 30・9728、FAX 30・9833)

暮らしの無料相談

4月10日(火)、5月8日(水)。各10時30分~15時
■みんくる ■対象高齢者、障害のある人、生活に困っている人など
■内容相続、離婚などの悩みに公証人などの専門家が対応
■NPO法人ワンストップ
リーガルネット(大内田事務所内、FAX 39・0926、FAX 31・5336)

アルコールの無料相談

4月10日(火)、17日(火)、24日(火)、5月8日(火)、15日(火)。各19時~21時
■えーるピア久留米 ■内容アルコール依存症から回復した人が対応
■申し込み不要
④同事務局の野田さん
(FAX 52・3839、FAX 52・0547)

市勤労者生活資金貸し付け 無料相談

4月14日(日)、21日(日)。各10時~17時
■九州労働金庫ローンセンター久留米 ■対象市内に住んでいる64歳以下で、融資制度がない中小企業に1年以上勤めている人
■内容教育費、医療費、冠婚葬祭費などを低金利で貸し付ける制度の説明・相談
■申込方法申込先に連絡
④同所(FAX 33・7117、FAX 33・7123)

外国人のための無料相談

4月20日(土)13時~16時
■本庁舎3階会議室 ■内容国際結婚や帰化、国籍問題などの相談に行政書士が対応。英語、中国語、韓国語の通訳あり
■申し込み不要
④久留米観光コンベンション
国際交流協会
(FAX 31・1717、FAX 31・3210)

成年後見無料相談

4月27日(土)13時~15時
■みんくる ■対象高齢者、障害のある人、生活に困っている人など
■内容財産管理の悩みに社会福祉士、行政書士などが対応
■定員15人・先着順
■申込期間4月8日(月)10時~14日(日)
■権利擁護支援センターふれあい会の辻さん(FAX 080・1766・3040、FAX 35・2744)



トレーナーが無料で指導

4月10日から来年3月25日

「広報くるめ」は古紙を配合した再生紙を使用しています

までの第2・4水曜。各14時~20時
■庄島体育館 ■対象高校生以上
■内容トレーニング器具の使用方法の指導など
■申込方法窓口。施設利用料2時間200円
④市体育協会
(FAX 33・5453、FAX 38・2259)

ドッグラン1周年記念イベント

4月14日(日)10時~15時
■リバーサイドパークドッグラン
■対象登録者 ■内容雑誌「犬吉猫吉」撮影会100人・当日先着順、抽選会、障害物レースなど
■料金無料 ■申し込み不要。当日登録も可、飼犬の鑑札・狂犬病予防注射済票を持参のこと
④都市公園管理センター
(FAX 34・1664、FAX 34・1719)



子どもスケッチ大会

4月20日(土)、21日(日)10時~16時
■石橋文化センター ■対象小学生以下
■内容園内でスケッチや塗り絵、コンサートなど
■料金無料 ■申し込み不要。画材を持参のこと
④同センター
(FAX 33・2271、FAX 39・7837)

リサイクル宝の市

4月21日(日)9時30分~15時
■対象市内に住んでいる人 ■内容不用となった家具などの販売
【次回のフリーマーケット出店者

タッフ・各18歳~39歳、③リーダー・18歳~30歳。高校生を除く
■内容8月下旬に4泊5日で行う、小学5年生から中学生までを対象にした沖縄研修の企画・指導ボランティアスタッフ。事前・事後研修などあり
■料金①③1万円、②無料 ■定員①7人、②5人、③10人・選考 ■申込締切5月8日(水)。申込書はえーるピア久留米、各総合支所地域振興課、各市民センター、市ホームページなどに準備

■説明会 ■4月24日(水)19時30分~ ■えーるピア久留米 ■申し込み不要
④同実行委員会事務局
(生涯学習推進課内、FAX 30・7970、FAX 30・7971)

■耳納市民センター多目的棟
〒839-0824 善導寺町飯田202の1
FAX 47・0995、FAX 47・0994
E-mail: minou-tamoku@ktarn.or.jp

カレッジ講座

4月14日(日)14時~15時30分、5月18日(土)10時30分~12時
■内容講話「初めて読む人の為の『源氏物語』」(講師=九州大谷短期大学名誉教授・吉田隆治氏)
■料金無料
■定員15人・先着順 ■申込開始4月9日(火)9時30分

■筑邦市民センター多目的棟
〒830-0073 大善寺町宮本165の6
FAX 27・4210、FAX 26・1246
E-mail: chiku-tamoku@ktarn.or.jp

カレッジ講座

4月14日(日)10時30分~12時、5月18日(土)14時~15時30分
■内容講話「初めて読む人の為の『源氏物語』」(講師=九州大谷短期大学名誉教授・吉田隆治氏)
■料金無料
■定員20人・先着順 ■申込開始4月9日(火)9時30分

久留米の皆様のいちばん身近な法律事務所を目指して

借金問題 弁護士の受任通知で業者の取立が止まります。
※弁護士費用の分割も可能です。

交通事故 保険会社の『賠償金額』に納得できますか?
※着手金無料 (弁護士費用特約がある場合を除く)

その他 離婚・男女問題 相続・遺言

上記事項の初回相談は無料

URL <https://mn-law.jp>

MN 弁護士法人
松本・永野法律事務所
福岡事務所・朝倉事務所
福岡県弁護士会所属 弁護士 永野 賢二 弁護士 鶴崎 陽三
0120-14-9090 受付時間
平日 9:00~18:00
久留米事務所 久留米市通町10-4 TK久留米ビル6F
J.R.久留米駅
昭和通り
市久留米駅
商久留米駅
三本松通り
櫛原バイパス
久留米市役所より徒歩6分
ココ

広報くるめ

水と緑の人間都市

情報ほっとライン

このコーナーでは、市からのお知らせや、催しなどを紹介します。

石橋文化センター正面入り口のチューリップ。4月上旬から下旬にかけて見頃を迎え、園内を彩ります

お知らせ

今月の納付（4月分）

【年金天引き】市・県民税、国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料

天引き日 4月15日（月）

納付には、便利で安心な口座振替を利用してください。

6次産業化の取り組みを助成

対象市内で農業を営む個人や団体 定数①商品開発支援・5件②販路拡大支援・3件 ③商品改良支援・1件。各選考。③は以前に①か②の支援を受けた商品が対象 助成額対象経費の2分の1以内。上限は、①③30万円、②50万円 申込期間 4月15日（月）～5月17日（金）（必着）。申込書は申込先、市ホームページなどに準備

⑨農政課

（☎ 30・9163、Fax 30・9717）

男女平等に関する企画を募集

対象市内を中心に活動しているグループ 内容男女平等をテーマにし

☎:電話 Fax:ファクス ☐:問い合わせ先 ⑨:申込先および問い合わせ先
✉:電子メールアドレス ⓧ:携帯電話専用ショートメッセージ

た講座や講演会など 助成額上限4万円 企画数3企画・選考 申込締切来年1月15日（水）。申込書は申込先、市ホームページなどに準備

⑨男女平等推進センター

（☎ 30・7800、Fax 30・7811）

国際理解事業費を助成

対象事業 今年度に市内で行う予定の国際理解・多文化交流などの活動。選考あり 助成額経費の3分の2以内。上限は10万3,000円。申込書は申込先に準備

⑨久留米観光コンベンション

国際交流協会

（☎ 31・1717、Fax 31・3210）

国民年金保険料の学生納付猶予の受け付け

所得が一定以下の学生には、在学期間中の保険料が猶予される制度があります。申請には、年金手帳と学生証か在学証明書が必要です。手続きは医療・年金課、各総合支所市民福祉課、各市民センターへ。

⑨医療・年金課

（☎ 30・9032、Fax 30・9107）

市奨学生を募集

対象保護者が市内に住んでいて、経済的な理由で就学が困難な高校生、高専生など 金額公立・月額5,000円、私立・月額7,000円 定員15人・選考 申込締切 4月19日（金） 申込方法 通っている学校に連絡

⑨学校教育課

（☎ 30・9217、Fax 30・9719）

ゴールデンウイークのし尿汲み取りは早めに

大型連休中のし尿収集と浄化槽清掃は休業する日があります。収集を希望する人は早めに業者に連絡してください。

⑨中央浄化センター

（☎ Fax 39・1155）

本庁舎全館閉館

4月21日（日）は設備保守点検のため、全館閉館します。1階自動交付機、2階くるみホール、3階会議室、20階展望ロビー、西鉄久留米駅構内の自動交付機も利用できません。

⑨財産管理課

（☎ 30・9059、Fax 30・9712）

市外局番を記載していない電話番号は「0942」を省略しています